

第 200 回 競技委員会 議事録

1. 日 時 : 2009 年 6 月 3 日 (水) 18 時 00 分 ~ 20 時 45 分
2. 会 場 : 連盟本部事務局
3. 出席委員 : 清水康裕委員長、平田眞、寺本直志、古田一雄、斉藤千鶴乃、山菅昭夫、仲村篤志
以下委任状 : 林伸之、佐々部君敏、西田奈津子、田中陵華
オブザーバー : 大政哲人
委員総数 11、定足数 8、出席 11 (内委任状 4) で成立。
4. 議事の経過及び結果 : 清水康裕委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号 議案 クラブディレクター認定報告

以下 8 名のクラブディレクター認定が事務局から報告された。

C-00926	杉野 正勝	66677
C-00927	小林 稔	75729
C-00928	太田 裕子	91606
C-00929	恒田 ミドリ	135951
C-00930	久保 敬子	178381
C-00931	河野 祐子	180579
C-00932	八木 泰子	181411
C-00933	井澤 礼子	185840

第 2 号 議案 セクショナルディレクター承認

以下 3 名のセクショナルディレクターが承認された。

C-00919	大石 剛毅	32894	(推薦 S-00090 山菅 昭夫)
C-00672	園田 由美子	140797	(推薦 S-00033 久富 邦子)
C-00760	加藤 真智子	160348	(推薦 S-00033 久富 邦子)

第 3 号 議案 ハンドブックについて

- ・ JCBL HANDBOOK コンベンションリストの「2-way NT」及び「2D オープン」の表記をコンベンション小委員会にて検討することで合意した。
- ・ WBF システムポリシーが更新され、「どちらかのメジャーのウィーク 2 を示す 2 の代のマイナーのオープン (以下マルチ 2 と表記)」は、ディフェンスサマリーの参照ができるようになった。この件に関して以下の 4 項目で合意した。
 - 1) WBF システムポリシーに準拠し、マルチ 2 に対してディフェンスサマリーの参照ができるように規則を更新する。
 - 2) Brown Sticker コンベンション及びマルチ 2 のディフェンスサマリーは、対戦ラウンド前にディレクターに 2 部を提出する。
 - 3) 上記 1、2 項は該当試合要項に明記し、9 月 1 日より施行する。
 - 4) 以上の変更を会報の連盟広報に掲載する。原稿は事務局が作成し、委員に e-mail で確認を求める。

第 4 号 議案 IMP 小委員会報告

古田小委員会委員長より議事録が提出され、以下の内容が合意された。

- ・ 「最初から対戦相手が決まっている 8 チーム 5 ラウンド」の試合方式は公平では無いので改善を図る。
- ・ 各チーム数での推奨する対戦方式を検討する。総当たり戦で無くても構わない。
- ・ すでに必要出場回数を満たしたプレイヤーは削除できない。
- ・ 代理プレイヤーと正規メンバーの交替は、ボード単位で可能なことを明記する。
- ・ IMP オープンのコンベンションリストの上限を E とすることは主催者側の要望であることが確認された。従ってリスト変更はしない。
- ・ IMP オープンのコンベンションリストの下限をリスト D からリスト C に変更するかどうかは主催者側の意見を聞く。
- ・ 代理プレイヤーの条件は現行通りで変更は無い。
- ・ JCBL HANDBOOK 「IMP リーグの試合方法」にある、(参考) の文字を削除する。

- ・各ブリッジセンターにアンケートを実施し、試合形式や試合数に関する、現行、過去、今後の希望などの調査を行う。

第5号議案 その他議案

- ・第199回議事録第1号議案「茨城県知事杯で過去のボードが配られた件に関して」を再検討した。
 - 1) 改善策は不十分では無い。
 - 2) 同様の事故が起こらないようにブリッジセンターに通知を出し、事故防止のノウハウを伝えた。
 - 3) JTOS 保守グループ会議（5月26日）に於いて機能の追加を検討した。
上記3項目に関して6月5日の理事会で報告することとした。
- ・2009年1月10日から5月24日までの上告6案件の裁決に関して意見を交換した。WBFから新規の規則解説が発布されていることが、事務局から報告された。

次回競技委員会は8月5日（水）18時00分からの開催を予定する。

以 上